

## 航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成24年4月～平成24年9月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	新千歳空港	神戸空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
4/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	東京国際空港	熊本空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
4/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/2	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	成田国際空港	香港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	那覇空港	成田国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	東京国際空港	那覇空港	上昇中、左側主翼付け根部の内部が過熱していることを示すライトが点灯した。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	北京	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	那覇空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/3	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	青森空港	大阪国際空港	進入中、被雷により胴体前部及びビトー管等が損傷した。	
4/3	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、低気圧の影響に伴う風の急変により、高揚力装置展開時の運用限界速度を一時的に超過した。	
4/4	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	高雄	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	関西国際空港	東京国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、鳥衝突によりセンサーが損傷し、右脚が下がっていることを示すライトが点灯しなかった。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966			定時整備中、航空機用救命無線機が不作動であることを発見した。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	花巻空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	成田国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
4/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	成田国際空港	福岡空港	進入中、被雷により胴体及び左側水平尾翼が損傷した。	
4/5	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	神津島空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C	名古屋飛行場	名古屋飛行場	空中待機中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホノルル	成田国際空港	離陸滑走中、客室ギャレー内のカートが移動し、座席に接触して停止した。(離陸前の確認が不十分であった。)	
4/6	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	東京国際空港	新千歳空港	離陸滑走中、管制機関からウィンドシアア発生のお知らせを受けたため、離陸を中止した。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8291	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	東京国際空港	新千歳空港	進入中、自動操縦装置の機能が低下するとともに、フライトディレクターの指示が消えたため、復行を行った。	
4/10	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8313	大阪国際空港	福岡空港	夜間整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
4/10	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851C	宮崎空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体後部が損傷した。	
4/11	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA849C	鹿児島空港	屋久島空港	巡航中、被雷により胴体及び右側エルロンが損傷したため、引き返した。	イレギュラー運航
4/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	旭川空港	成田国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
4/11	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA304J	那覇空港	関西国際空港	運航整備中、胴体側面の外部電源の接続部に損傷を発見した。	
4/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/12	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8066	東京国際空港	秋田空港	着陸時、鳥衝突により左側高揚力装置が損傷した。	
4/13	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA08AN	宮古空港	那覇空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異の修正操作を誤ったため、運用限界を超過した。	
4/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	北九州空港	エンジン始動後、副操縦士側の航法装置に不具合が発生した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN			定時整備中、乗客用の酸素マスクの落下試験を実施したが、規定値内で作動しなかった。	
4/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
4/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
4/14	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/14	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J			定時整備中、航空機用救命無線機の不作為を発見した。	
4/17	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA006D	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8069	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA215J			定時整備中、非常用脱出スライドを作動させたところ、空気漏れにより正常に展開しなかった。	
4/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8969	函館空港	東京国際空港	降下中、被雷により胴体及び左側主翼端部が損傷した。	
4/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	新千歳空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部が損傷した。	
4/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	新潟空港	巡航中、与圧装置の不具合を示す計器表示があったため手動で与圧制御を行ったが、誤って最大差圧の運用限界を超過した。	
4/18	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	進入中、脚上げ操作を実施したが、操作レバーの位置と脚の位置が不一致であることを示す計器表示があったため、代替操作により脚下げを行った。	
4/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	石垣空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/20	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA619A	ホーチミン	成田国際空港	巡航中、機内で急病人が発生したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
4/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	シンガポール (パヤレバ)	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー 運航
4/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	大阪国際空港	秋田空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	大阪国際空港	秋田空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホノルル	関西国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/22	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	関西国際空港	大阪国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が下がらなかったため、手動操作により脚下げを行った。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	百里飛行場	誤って許可を受けた滑走路とは異なる滑走路に着陸した。	
4/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	小松飛行場	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/23	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8197	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、被雷によりレドームが損傷した。	
4/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	熊本空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
4/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669	富山空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突によりレドーム及び左側主翼前縁の高揚力装置が損傷した。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8983	東京国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	那覇空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部及び水平尾翼端部等が損傷した。	
4/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	秋田空港	大阪国際空港	進入中、エンジンから抽気した空気ダクトの温度センサーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	那覇空港	宮古空港	巡航中、機内放送装置が不作為となった。	
4/25	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	東京国際空港	着陸時、接地と同時に機長側の座席が後方に移動したため、直ちに操縦を副操縦士に交代した。	
4/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
4/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	福岡空港	離陸滑走中、電子機器室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	那覇空港	高松空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8397			定時整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/27	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844C	種子島空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA392K	宮崎空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	東京国際空港	神戸空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	成田国際空港	旭川空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
4/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	鹿児島空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	アンカレッジ	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8398	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
4/29	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA305K	東京国際空港	新千歳空港	進入中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
4/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	福島空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚の格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8360	小松飛行場	東京国際空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。(燃料配管弁の状態確認等が不十分であった。)	
4/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	中部国際空港	新潟空港	進入中、無線機の操作パネルが不動作となり、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
4/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	大阪国際空港	上昇中、貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
5/1	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
5/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA60AN	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
5/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737L	那覇空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、機内で急病人が発生したため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
5/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA320J	那覇空港	関西国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び第2エンジンの外部が損傷した。	
5/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	花巻空港	福岡空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA8419			定時整備中、中央翼下面の外板に腐食を発見した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/3	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8065	東京国際空港	岡山空港	巡航中、ピッチ制御が不安定となり、管制指示高度を逸脱した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA09AN	成田国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/4	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8595	新千歳空港	富山空港	上昇中、鳥の群れに遭遇したため、引き返し、点検を行ったところ、第1エンジンに鳥衝突による損傷を発見した。	イレギュラー運航
5/4	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA711A	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	新千歳空港	仙台空港	上昇中、防水装置の不具合を示す計器表示があった。	
5/4	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA805A	フランクフルト	東京国際空港	離陸後、誤って管制指示経路から逸脱した。	
5/5	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
5/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA808A	松山空港	東京国際空港	離陸滑走中、鳥の群れに遭遇したため、離陸を中止した。	
5/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8267	旭川空港	東京国際空港	降下中、被雷により左側の主翼端部及びエルロンが損傷した。	
5/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	成田国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	熊本空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/6	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA612A	成田国際空港	香港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/7	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/7	日本エアコミューター	サーフ式SAAB340B型	JA8649	出雲空港	福岡空港	離陸滑走中、第2エンジンの出力が離陸出力に達しないため、離陸を中止した。(整備作業が不適切であったものと考えられる。)	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8569	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/9	全日本空輸	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、被雷により胴体右側及びエレベータが損傷した。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	長崎空港	大阪国際空港	降下中、被雷により垂直尾翼が損傷した。	
5/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、被雷により第2エンジンの逆推力装置及び垂直尾翼が損傷した。	
5/10	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	徳島飛行場	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
5/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	大阪国際空港	仙台空港	運航整備中、左右の主翼端部に被雷による損傷を発見した。	
5/10	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	熊本空港	大阪国際空港	着陸復行中、高揚力装置を収納する時機が遅すぎたため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
5/11	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	福岡空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	福岡空港	成田国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	山形空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/12	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA734H	那覇空港	宮崎空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
5/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	成田国際空港	旭川空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806A	東京国際空港	フランクフルト	離陸滑走中、客室ギャレー内のコンテナが移動し、床に落下した。(離陸前の確認が不十分であった。)	
5/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、主脚格納室内の火災を示すライトが点灯したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	イレギュラー運航
5/13	琉球エア・コンピューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8935	那覇空港	与那国空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	広州	成田国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA34CA	新島空港	調布飛行場	巡航中、電波高度計が不作動であることを示す計器表示があり、航空機衝突防止装置及び対地接近警報装置が不作動となった。	
5/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	高松空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	大阪国際空港	長崎空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	アンカレッジ	シカゴ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	東京国際空港	小松飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	宮古空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	小松飛行場	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA004D	東京国際空港	三沢飛行場	離陸後、鳥衝突により第2エンジンが損傷したため、引き返した。	イレギュラー運航
5/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737E	那覇空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	エアアジア・ジャパン	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8384	成田国際空港	福岡空港	進入中、降下の時機が早すぎたため対地接近警報装置が作動し、回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	函館空港	運航整備中、非常用脱出スライドを展開させる駆動装置の一部に不具合を発見した。	
5/19	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737A	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	新千歳空港	仙台空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	長崎空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不作動となった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	神戸空港	東京国際空港	着陸後、機内放送装置が不作動となった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
5/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	大分空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/21	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	成田国際空港	バンコク	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	宮古空港	那覇空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
5/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			定時整備中、客室内の防水携帯灯の一部に不点灯を発見した。	
5/22	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8065	東京国際空港	山口宇部空港	巡航中、ピッチ制御が不安定となり、管制指示高度を逸脱した。	
5/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	松山空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	宮古空港	那覇空港	降下中、機内放送装置が不動作となった。	
5/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	台北	東京国際空港	エンジンスタート後、外気温度計のヒーターが不動作であることを示すライトが点灯したままとなったため、スポットに引き返した。	
5/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976	東京国際空港	徳島飛行場	上昇中、被雷により胴体の上面及び下面が損傷した。	
5/23	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA306J	広島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置から突然回避指示が発せられたため、回避操作を行った。	
5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	神戸空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/23	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	大阪国際空港	山形空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	福岡空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	宮古空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	ホノルル	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
5/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	成田国際空港	旭川空港	上昇中、誤って管制指示経路から逸脱した。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8274	東京国際空港	松山空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	中部国際空港	那覇空港	運航整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
5/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	那覇空港	岡山空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
5/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	那覇空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	上昇中、機内放送装置が不動作となった。	
5/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	台北	関西国際空港	上昇中、被雷により方向舵及び左側の航空灯が損傷した。	
5/28	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8395	神戸空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	成田国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/28	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500	宮崎空港	大阪国際空港	運航整備中、右側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
5/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669	富山空港	東京国際空港	降下中、被雷により胴体下部及び左右の主翼端部等が損傷した。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	大阪国際空港	福島空港	巡航中、機長及び副操縦士側の飛行コース等を表示させる画面の表示が消えた。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	中部国際空港	上昇中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	成田国際空港	仙台空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があったため、スポットに引き返した。	
5/29	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737V	東京国際空港	東京国際空港	飛行試験中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	那覇空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部及び水平尾翼が損傷した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	ソウル(金浦)	東京国際空港	降下中、被雷により航空機救命無線機が不動作となった。	
5/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	中部国際空港	降下中、被雷により胴体及び無線機のアンテナ等が損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/29	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA10AN	成田国際空港	ムンバイ	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8269	新千歳空港	東京国際空港	降下中、被雷により前脚扉が損傷した。	
5/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	マニラ	北九州空港	運航整備中、電波高度計に誤った送受信機が取り付けられていることを発見した。	
5/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	仙台空港	降下中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
5/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8397	東京国際空港	旭川空港	着陸後、両エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
5/30	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	大阪国際空港	新千歳空港	上昇中、機長側の飛行コース等を表示させる画面の表示が消えるとともに、副操縦士側の飛行管理装置も不動作となった。	
5/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	那覇空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示とともに、1つの油圧系統の油圧及び油量が低下したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー 運航
5/30	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
5/31	日本航空	ボーイング式777-200型	JA704J	シドニー	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA322J	東京国際空港	青森空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	女満別空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA204J	福岡空港	花巻空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/31	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA302K	石垣空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	東京国際空港	福岡空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	福岡空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	那覇空港	東京国際空港	離陸後、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯した。	
5/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	シカゴ	アンカレッジ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホノルル	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	那覇空港	関西国際空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
6/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	バンコク	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、誤って管制指示高度を逸脱した。	
6/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA609J	グアム	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	東京国際空港	ソウル(金浦)	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	ホーチミン	成田国際空港	巡航中、副操縦士側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA308J	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA622J	バンコク	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/4	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	ボストン	成田国際空港	運航整備中、乗客用酸素マスク等を収納するサービスユニットに、誤ったユニットが取り付けられていることを発見した。(機体製造時に誤ったものと考えられる。)	
6/4	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA8359	旭川空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/4	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	大分空港	東京国際空港	上昇中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
6/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	新千歳空港	東京国際空港	降下中、右側の慣性航法装置に不具合が発生した。	
6/4	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/4	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA329J	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA03MC	東京国際空港	北九州空港	運航整備中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA822J	北京	東京国際空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素供給装置に不具合を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	ボストン	成田国際空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素供給装置に不具合を発見した。	
6/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850C	大阪国際空港	鹿児島空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	函館空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	成田国際空港	ホノルル	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/6	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA318J	帯広空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/7	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8974	那覇空港	与論空港	上昇中、一時的に前脚が正常に格納されていないことを示すライト及び前脚の格納扉が閉じていないことを示すライトが点灯し、風切音と振動が生じた。	
6/7	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8973	那覇空港	南大東空港	降下中、機内で異臭が発生し、化粧室内の煙探知器が作動した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	成田国際空港	ニューヨーク	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/8	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	小松飛行場	新千歳空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/8	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845C	徳之島空港	鹿児島空港	上昇中、気圧高度補正の設定操作が不適切であったため、運用限界高度を逸脱した。	
6/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	中部国際空港	大分空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	ロンドン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	新千歳空港	中標津空港	上昇中、機内に白いもやのようなものが発生したため、運航乗務員が酸素マスクを使用し、引き返した。	イレギュラー運航
6/10	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	中部国際空港	降下中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
6/10	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	静岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	宮古空港	那覇空港	巡航中、被雷により胴体前部及び昇降機が損傷した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	成田国際空港	神戸空港	運航整備中、右側のウィングレット及び第1エンジンの逆推力装置に被雷による損傷を発見した。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	新千歳空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	中部国際空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	中部国際空港	仙台空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8275	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び第2エンジンの逆推力装置が損傷した。	
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8322	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998			定時整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	中部国際空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	新千歳空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	中部国際空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	岡山空港	那覇空港	運航整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
6/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	モスクワ	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	岡山空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	福岡空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
6/15	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	熊本空港	那覇空港	巡航中、航空機用救命無線機が作動したままととなった。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、被雷により胴体前部及び水平尾翼が損傷した。	
6/16	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	大阪国際空港	熊本空港	進入中、電波高度計の指示が不安定になり、対地接近警報装置が作動した。	
6/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/16	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA300K	新千歳空港	福島空港	降下中、左右燃料タンクの燃料量の差異の修正操作を誤ったため、運用限界を超過した。	
6/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	上昇中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	広島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975			定時整備中、高揚力装置に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
6/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8291	中部国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	関西国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/19	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8404	仙台空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	福岡空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
6/19	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8947	東京国際空港	佐賀空港	降下中、機内放送装置が不動作となった。	
6/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8299	高松空港	東京国際空港	運航整備中、高揚力装置に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	北京	成田国際空港	着陸時、ハードランディングとなり胴体が損傷した。	航空事故
6/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
6/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA804K	東京国際空港	大島空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚の格納扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯と消灯を繰り返したため、引き返した。	イレギュラー運航
6/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA604J	関西国際空港	ホノルル	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/21	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8947	東京国際空港	八丈島空港	着陸復行中、自動操縦装置の誤った操作等により高度が低下し、対地接近警報装置が作動した。	
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	山形空港	東京国際空港	降下中、副操縦士側の飛行コース等を表示させる画面の表示が消えた。	
6/22	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA8359	旭川空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	成田国際空港	広州	上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。(燃料ポンプの操作等が不適切であった。)	
6/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	降下中、機内放送装置が不動作となった。	
6/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	鹿児島空港	東京国際空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
6/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	新潟空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	百里飛行場	神戸空港	運航整備中、右側のウイングレットに被雷による損傷を発見した。	
6/25	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA002C	鹿児島空港	喜界空港	巡航中、被雷により胴体前部及び機体尾部の航空灯等が損傷したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/25	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA10AN			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B			書類確認の結果、両エンジンに誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
6/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8597	那覇空港	石垣空港	運航整備中、スポイラーのコントロールケーブルが破断していることを発見した。	
6/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	熊本空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/28	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8982			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/29	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	大島空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/29	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	ソウル(仁川)	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA611J	中部国際空港	ホノルル	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	美保飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、鳥衝突の可能性があったため、離陸を中止した。	
7/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	ロンドン	成田国際空港	巡航中、油圧系統の油量が低下していることを示す計器表示があった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8287	松山空港	東京国際空港	上昇中、第1エンジンから異音が発生し、エンジン出力が低下したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	イレギュラー運航
7/4	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
7/5	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8982	福岡空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/5	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、着陸許可を受けた滑走路に他の航空機が進入してきたため、管制機関からの指示に従い、復行した。	重大インシデント
7/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	那覇空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	東京国際空港	福岡空港	降下中、被雷により胴体前部が損傷した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	中部国際空港	仙台空港	降下中、被雷によりレドームが損傷した。	
7/5	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
7/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホノルル	成田国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA622A	成田国際空港	ジャカルタ	降下中、誤って運用限界高度を超える高度で高揚力装置を展開した。	
7/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	フランクフルト	成田国際空港	降下中、被雷により胴体前部及び右主翼の外板等が損傷した。	
7/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847C	福岡空港	宮崎空港	離陸時、管制機関から指示を受け滑走路に進入したが、当該滑走路は他の航空機が着陸許可を受けて進入中であったため、当該機が管制機関からの指示に従い復行した。	重大インシデント
7/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA651J	シンガポール	東京国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/8	朝日航洋	マクドネル・ダグラス式MD900型	JA6911	旭川赤十字病院 院場外離着陸場	北海道富良野町内場外離着陸場	離陸直後に第1エンジンが停止したため、目的地を最寄りの空港に変更した。(エンジン内部において大規模な破損が生じた。)	重大インシデント
7/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	東京国際空港	広島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	東京国際空港	那覇空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	神戸空港	離陸滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	神戸空港	長崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	福岡空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/11	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8358	那覇空港	ソウル(仁川)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	香港	成田国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/12	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8300	熊本空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホーチミン	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	成田国際空港	マニラ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA626A	成田国際空港	シンガポール	上昇中、副操縦士側のヒート管のヒーターの不具合を示す計器表示があったため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	イレギュラー運航
7/12	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA04MC			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
7/12	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	熊本空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、主脚の格納扉が閉まらなかったため、引き返した。	イレギュラー運航
7/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	東京国際空港	徳島飛行場	離陸滑走中、ウィンドシアアの警報が作動したため離陸を中止した。	
7/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	宮古空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8198	福岡空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体上部及び無線機のアンテナが損傷した。	
7/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	熊本空港	運航整備中、両ウィングレットに被雷による損傷を発見した。	
7/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	福岡空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体を損傷した。	
7/13	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA319J	東京国際空港	長崎空港	進入中、被雷により胴体上部、無線機のアンテナ及び左翼ウィングレット等が損傷した。	
7/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	新千歳空港	新潟空港	上昇中、副操縦士側の飛行管理装置と飛行コース等を表示させる画面が不動作となった。	
7/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	マニラ	成田国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA16AN	関西国際空港	石垣空港	離陸滑走中、鳥衝突を避けるため離陸を中止した。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	福岡空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	那覇空港	着陸後、ウィンドシアア警報及び気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
7/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中、鳥衝突により第1エンジンの高圧圧縮機のブレードが損傷した。	
7/15	ピーチ・アビエーション	E7バス式A320-214型	JA802P	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、誤って管制指示経路から逸脱した。	
7/17	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA336J	東京国際空港	帯広空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	福岡空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA354K			整備品整備中、非常用脱出スライドを作動させたところ、空気漏れにより正常に展開しなかった。	
7/18	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA621A	シンガポール	成田国際空港	上昇中、操縦系統、空調系統等の不具合を示すライトが点灯したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	イレギュラー運航
7/18	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8504	新千歳空港	富山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	成田国際空港	上海(浦東)	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	大阪国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	松山空港	上昇中、被雷によりレドーム及び胴体上部が損傷した。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	新千歳空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	上昇中、機内放送装置が不動作となった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	成田国際空港	新千歳空港	巡航中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	成田国際空港	ソウル(仁川)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	石見空港	大阪国際空港	上昇中、誤って高揚力装置を展開したため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
7/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ	仙台空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
7/23	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737L	関西国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
7/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
7/24	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8704	福岡空港	出雲空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8273	美保飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	新千歳空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA333J	青森空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8999	石垣空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	福岡空港	上昇中、気象レーダー及びびウインドシアア警報が不作動であることを示す計器表示があった。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	神戸空港	上昇中、気象レーダー及びびウインドシアア警報が不作動であることを示す計器表示があった。	
7/31	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8983	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、方向舵に被雷による損傷を発見した。	
7/31	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ	福島空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	バンコク	成田国際空港	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/3	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8362	那覇空港	香港	離陸滑走中、副操縦士側の速度計の指示が不安定になったため、離陸を中止した。	
8/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
8/3	セントラルヘリコプターサービス	川崎式BK117C-1型	JA9979	江津44場外離着陸場(島根県)	島根県立中央病院ヘリポート	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
8/4	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	ホノルル	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	中部国際空港	熊本空港	降下中、対地接近警報装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
8/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	釧路空港	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第1エンジンの高圧圧縮機のブレード等が損傷した。	
8/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J	北京	成田国際空港	運航整備中、第2エンジンの逆推力装置に被雷による損傷を発見した。	
8/5	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	宮崎空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	中部国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	那覇空港	東京国際空港	離陸後、第1エンジンの排気ガス温度の運用限界を一時的に超過した。	
8/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J	東京国際空港	岡山空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	名古屋飛行場	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8973	那覇空港	奄美空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	成田国際空港	広島空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
8/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846C	福岡空港	宮崎空港	上昇中、第1エンジンの滑油温度が高いことを示す計器表示があったため当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	イレギュラー運航
8/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/10	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA343J	那覇空港	関西国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に差異が生じ、運用限界を超過した。(燃料配管弁の状態確認等が不十分であった。)	
8/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	小松飛行場	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
8/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			定時整備中、機体外部の非常用脱出スライドの照明が点灯しないことを発見した。	
8/10	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	久米島空港	那覇空港	運航整備中、左側エルロン及び胴体下面に被雷による損傷を発見した。	
8/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	成田国際空港	小松飛行場	進入中、脚下げ操作を実施していないにもかかわらず、脚下げ時に発生する風切音と前脚扉が開いていることを示す計器表示が数秒間発生した。	
8/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/11	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	神戸空港	東京国際空港	運航整備中、胴体後部に被雷による損傷を発見した。	
8/13	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8268			定時整備中、非常用脱出スライドを作動させたところ、スライドが展開しなかった。	
8/16	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA336J	山口宇部空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8286			定時整備中、水平安定板の外板の一部に腐食を発見した。	
8/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	パリ	巡航中、左右燃料タンクの燃料油量計の表示に一時的な差異が生じた。	
8/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8269	徳島飛行場	東京国際空港	進入中、昇降舵の操作に通常より大きな力が必要となった。	
8/17	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	大阪国際空港	熊本空港	上昇中、副操縦士側の飛行コース等を表示する画面が不動作となった。	
8/18	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA735A	成田国際空港	パリ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	成田国際空港	鹿児島空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
8/18	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	巡航中、高速時にエルロンが固定されていないことを示す計器表示があった。	
8/19	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842C	福岡空港	宮崎空港	巡航中、客室高度が上昇し、警報が作動した。(誤って抽気スイッチをOFFにしてしまったものと考えられる。)	
8/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA08AN	那覇空港	関西国際空港	上昇中、全ての無線機が不動作となり、管制機関との通信ができなくなったため、引き返した。	イレギュラー 運航
8/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA53AN	東京国際空港	徳島飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	東京国際空港	秋田空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	香港	巡航中、中央及び右燃料タンクの燃料油量計の表示に一時的な不具合が生じた。	
8/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	中部国際空港	那覇空港	上昇中、燃料ポンプの作動状態確認等が不十分であったため、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
8/20	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8595	新千歳空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA01KZ			定時整備中、補助動力装置の消火ボルの圧力が低下した場合に表示器へ信号を出すスイッチが、正常作動しない状態であることを発見した。	
8/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8981	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	成田国際空港	マニラ	上昇中、機長席側の操縦室窓付近から煙が一時的に発生したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	イレギュラー 運航
8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/22	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8935	北大東空港	那覇空港	巡航中、被雷により胴体下面及び右側エルロン等が損傷した。	
8/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、両方の飛行管理装置が不動作となった。	
8/24	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA332J	東京国際空港	徳島飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	宮崎空港	着陸後降下中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA651J	成田国際空港	バンクーバー	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
8/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	東京国際空港	那覇空港	巡航中、左側の慣性航法装置の不具合を示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー 運航
8/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	成田国際空港	上海(浦東)	上昇中、脚格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、再度、脚上げ操作を実施したところ正常となった。	
8/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8287	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/29	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195	福岡空港	宮崎空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー 運航
8/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	福島空港	大阪国際空港	降下中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を操作した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/30	ピーチ・アビエーション	E7ハス式A320-214型	JA803P	関西国際空港	ソウル(仁川)	出発前の飛行計画の確認が不十分であったため、当該運航で許容される重量を超過した状態で離陸し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
8/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8272	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	アンカレッジ	シカゴ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	成田国際空港	関西国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			定時整備中、客室後方の化粧室の消火ボトルの圧力が0となっていることを発見した。	
9/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、与圧調整装置の設定が不適切だったため客室高度が上昇し、警報が作動した。(飛行前の確認が不十分であった。)	
9/2	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA354K	中部国際空港	宮崎空港	進入中、運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
9/2	全日本空輸	E7ハス・インダストリー式A320-200型	JA8390	東京国際空港	熊本空港	降下中、誤って高揚力装置を展開したため、運用限界高度・速度を超過した。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8363	関西国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
9/4	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-214型	JA01AJ	成田国際空港	那覇空港	降下中、化粧室の煙検知器が作動したため、点検したところ、ごみ箱に原因と思われるたばこの吸殻を発見した。	
9/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、左側ウィングレットの後方部及び第1エンジンの逆推力装置に被害による損傷を発見した。	
9/6	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	上昇中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/7	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843C	福岡空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	新千歳空港	松本空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
9/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA322J	松山空港	東京国際空港	運航整備中、補助動力装置の火災検知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
9/7	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737G	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8264	東京国際空港	青森空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/7	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	那覇空港	熊本空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/7	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8649	松山空港	福岡空港	巡航中、急激な気流の変化により管制指示高度を逸脱した。	
9/8	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA714A	東京国際空港	広島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	那覇空港	中部国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
9/8	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/8	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA617A	成田国際空港	ホノルル	上昇中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	東京国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/11	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	香港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/11	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	旭川空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA213J	仙台空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	那覇空港	石垣空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN			定時整備中、航空機用救命無線機が不作為であることを発見した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8969	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA620A	ジャカルタ	成田国際空港	離陸滑走中、第1エンジンの抽気バルブに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
9/18	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、化粧室の煙検知器の不具合を示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/18	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA340J	青森空港	東京国際空港	運航整備中、化粧室の煙検知器を点検したところ、警報音が作動しない不具合を発見した。	
9/19	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA348J	中部国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	東京国際空港	那覇空港	出発の際、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/20	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/21	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	関西国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/21	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ			耐久検査の受検中、エンジンスターターに誤ったパッキンが使用されていることが判明した。	
9/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	中標津空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/22	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA06MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/22	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/23	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	成田国際空港	那覇空港	巡航中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
9/23	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8286	バンコク	那覇空港	到着後、貨物室床面強度限界を超える貨物を誤って搭載していたことを発見した。	
9/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	熊本空港	東京国際空港	離陸時、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/24	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8504	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	鳥取空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	東京国際空港	佐賀空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	成田国際空港	シカゴ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	アムステルダム	ミラノ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8272	東京国際空港	福岡空港	運航整備中、左側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
9/27	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、非常脱出装置を作動させるバッテリーを点検したところ、正常であることを示すライトが点灯しなかった。	
9/27	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/27	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	新千歳空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	新千歳空港	中部国際空港	降下中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
9/29	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/29	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-214型	JA02AJ			定時整備中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/29	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-214型	JA01AJ			定時整備中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/29	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	ロサンゼルス	成田国際空港	運航整備中、客室乗務員用の休憩スペース内に装備された携帯消火器の操作ハンドルが破損しているのを発見した。	
9/30	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA313J	高松空港	東京国際空港	巡航中、外気温度計が不作動となり、自動操縦装置が使用できなくなった。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	パリ	東京国際空港	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	E7ハス式A320-214型	JA801P	ソウル(仁川)	関西国際空港	整備作業中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	E7ハス式A320-214型	JA802P	福岡空港	関西国際空港	整備作業中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	E7ハス式A320-214型	JA803P	新千歳空港	関西国際空港	整備作業中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	E7ハス式A320-214型	JA804P	鹿児島空港	関西国際空港	整備作業中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	